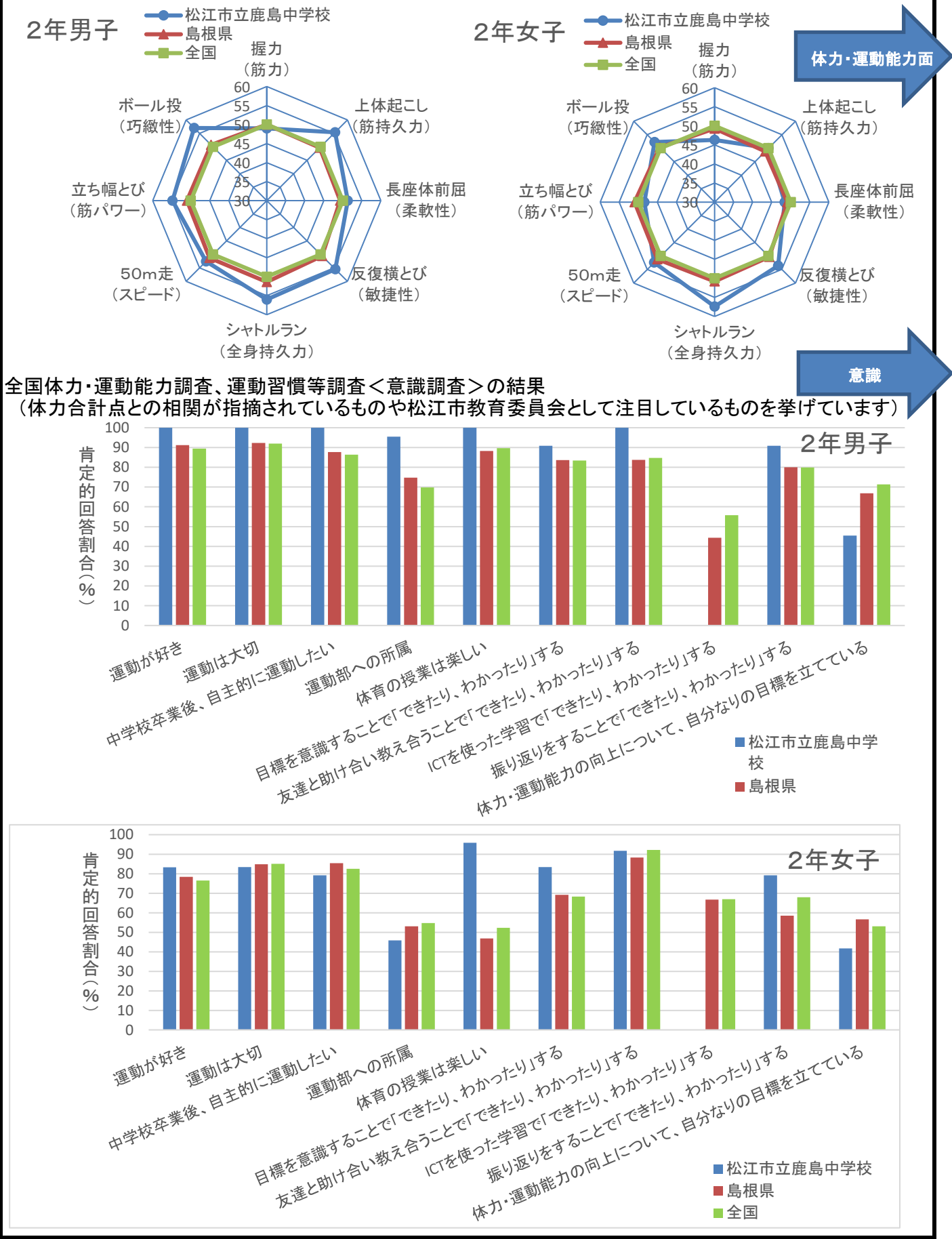


(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(2) 調査結果の分析

①体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-1.0	5.4	1.3	5.5	6.0	2.6	4.8	7.0
女子	-3.7	0.0	-1.6	3.6	7.4	2.4	-1.6	2.3

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

②意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校卒業後、 自主的に運動し たい	運動部への所属	体育の授業は楽 しい	目標を意識する ことで「できたり、わ かったり」する	友達と助け合い 教え合うことで「で きたり、わかったり」 する	ICTを使った学習 で「できたり、わ かったり」する
男子	10.6	8.0	13.6	25.7	10.3	7.5	15.3	-55.8
女子	6.8	-1.7	-3.3	-8.9	43.6	15.1	-0.5	-67.0

振り返りをすること
で「できたり、わ
かったり」する

体力・運動能力
の向上について、
自分なりの目標
を立てている

男子	11.0	-25.9
女子	11.2	-11.4

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和6年度の方針【学校全体での取組】

- 保健体育科の授業の工夫・改善、重点領域等
- ①体育授業の準備運動に体力向上に視点を置いた内容を盛り込み、年間を通して取り組めるようにする。
- ・本校生徒の共通して不足している体力要素(弱み)の改善や生徒自ら伸ばしていきたい体力要素(強み)の向上につながる活動を積極的に取り入れていく。
 - ・学習カードで自らの記録や授業の自己評価等を提示し、記録の変化や意識の違いが確認できるようにする。
- ②生徒たちが主体的に運動に取り組めるようにICTの積極的な活用を図る。
- ・生徒が自分や仲間の活動する姿を確認することで課題認識および課題解決につなげていくようにする。
 - ・ペア活動を積極的に取り入れ、対話活動を通して課題認識や課題解決につなげていくようにする。
- ③体育授業の単元ごとに生徒の実態に即し、生徒の達成感に重点を置いた目標設定を定める。
- 保健体育授業以外の活動
- ①定期的に「健康チャレンジ週間」の取組を行い、生徒自らが生活習慣を振り返り、見直す機会を設ける。
- ・SNSの利用と健康被害について考える。
 - ・睡眠、食生活、運動、ストレスと健康について考える。
- ②栄養教諭と協力し、「食育」の充実を図る。
- ・家庭と連携した活動を充実させる。
- 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
- ・地元企業協力のもと、陸上教室を開催する。
 - ・学園内で連携し、一貫教育としての取組の充実を図るとともに、保護者への啓発活動を積極的に行う。
(「健康チャレンジ週間」「食育」)